



長久手町文化の家
NAGAKUTE Cultural Center

フレンズのつどい Part. 25

優雅でスタイリッシュな

オペラユニット「LEGEND

8月20日 文化の家「森のホール」で



生の声の迫力で聴衆を魅了するオペラユニットLEGENDの舞台

8月20日の土曜日、文化の家森のホールでフレンズのつどい Part. 25「LEGENDコンサート」が行われました。5人は国立音楽大学を卒業し、それぞれがイタリアで数々のオペラやコンサートに出演し、実力を高めてきました。6年前に一度限りのユニットとして編成されたが、公演が高く評価され2007年に再結成し、本格的な活動に入りました。年間150を超えるステージでその歌唱力はファンの心をつかみ、今年4月にベストセラー小説を歌にした「永遠の0(ゼロ)」でメジャーデビューを果たし、現在全国ツアーを展開する中、フレンズのつどいに出演を快諾してもらいました。今回のコンサートは200曲を超えるレパートリーから、オペラに限らずカンツォーネ、唱歌に至るまで幅広い曲目を披露しました。お客様の中には遠く北海道からの熱心なファンや、名古屋や岐阜の公演を聴いて「また聴きたい」と長久手に駆けつけたファンが多く、いつものフレンズのつどいと違った印象を受けました。ピアノ・デュオの演奏はレベルが高く、二人のファンも多くLEGENDの歌声をより引き立たせ、聴衆を魅了していきました。オペラ歌手の歌唱はマイクを使わないので、生の声の



レベルの高いピアノデュオ



アンコールで客席を回ってファンサービス

迫力は聴衆の心をつかみ「初めて聴いてファンになった」との声も多く、休憩に入ると売り場には列ができて、CDが売り切れるほどの勢いでした。

熱唱とファンへの感謝

彼らの持ち味はファンとの距離感：吉田リーダーの軽妙なMCは歌の魅力を引き立て、プログラムに書かれた豆知識も巧妙に織り込み、聴衆を仲間に引き入れ舞台を盛り上げて行きました。

アンコールの「トウナイト」や「オーソレミオ」ではメンバーが客席まで足を運び、最後はスタンディング・オベーションで会場は一体となってフィナーレを迎えました。

終演後はお客様への感謝をこめて握手会でお見送りをしていました。

【2頁中段に続く】

フレンズの各部紹介 マニュアル部

フレンズはスタッフ登録された会員の活動に応じていろいろな「部」がありますが、今回は「マニュアル部」を紹介します

「シアターマネジメントマニュアル」を使って
真剣な研修の様子



フレンズスタッフは、文化の家の開館と同時に、ボランティアの立場でホールスタッフを担当してきました。

開館直後は、スタッフとしての必要な知識も経験も乏しいまま 任務についていましたが、長久手町文化の家で専門家を招いて「シアターマネジメント講座」を開催したのを機に、フレンズのスタッフは積極的に参加し、ホールスタッフに必要なシアターマネジメントの基本的な事柄を学ぶことができました。

こうした講座で基礎を学ぶ一方、周辺市町の文化ホールとの交流を通して他の事例から学んだり、また文化の家で年間五十数回に及ぶホールスタッフの経験を積んで、その技量の向上に努めてきました。

そして一昨年3月、フレンズ活動の10年を機に、その間の活動のまとめとして「文化の家フレンズ シアターマネジメントマニュアル」を作成しました。

このマニュアルは、先にあげた「シアターマネジメント講座」の内容を基礎に、文化の家でのホールスタッフの経験から学んだ事柄を生かしてまとめ上げたもので、他の会館などの関係者からも、「素晴らしいテキストです。自分のところでも参考にしたい」などと高い評価を受けるものに仕上がりました。

『マニュアル部』は、このマニュアルをもとに定期的の実技なども交え研修会を行っています。

いまでも、文化の家のフレンズスタッフは『お客さまへ真心のこもった暖かい接遇ができています』と高い評価をいただいています。この評価に気を緩めたり、慣れによる事務的・画一的な接遇に陥ることのないよう、常にマニュアルへの理解を深め、ホールスタッフの向上を図るのが『マニュアル部』の役割です。

【1面より続く】

フレンズのつどい お客様の声から

❖ 初めて長久手町文化の家に来ましたが立派なホールですね。LEGENDのファンで岐阜から来ました。今日も楽しかったです。(岐阜・女性)

❖ 若い男性の新しい形のオペラが聴けてとても新鮮でした。これからも頑張ってください。応援しています。

(名古屋市・女性)

❖ 若い5人のメンバーそれぞれの個性、若い歌声に感動しました。あっという間に時間が過ぎて行きました。大満足の時間を過ごさせていただきありがとうございます。メンバーそれぞれの個性がよく出ていて素晴らしいかったです。(尾張旭市・女性)

❖ とつてもよかったです。ホールも響きが良く聴かせる所は聴かせ、盛り上げる所は盛り上げメリハリがあつて素敵でした。(東京・女性)

❖ 男性オペラ歌手のコンサートは初めて！ 感動ものでした。「私の祈り」を聞き涙が出ました。多くの人に聞いて欲しいので紅白で歌って欲しいと思いました。(名古屋市・女性)

❖ 5人それぞれの声と個性が見事なハーモニーになってすてきな時間をすごせました。(長久手町・女性)

❖ 本日もヴラーヴィ。北海道から来たかいました。(旭川市・女性)

❖ 感動しました。オペラはむずかしいけど、とても楽しい時間を過ごせました。また企画してください。(長久手町・女性)

舞台裏から

LEGENDのメンバーが文化の家の楽屋に入って最初にすることはフレンズのスタッフへのあいさつでした。礼儀正しく、スタッフの好感度は一気に上がりました。

本番直前まで楽屋の大鏡の前で舞台の振り付けのアイデアを出し合い、メンバーが熱心に話し合う姿から舞台にかける熱気が伝わりました。

公演後メンバーはスタッフとの交流会に参加し楽しい一時を過ごしました。



私服に着替え、気さくな青年の姿に戻り、スタッフとともに公演の成功を祝って祝杯をあげ歓談しました

公演 話

山田和樹さん

(2009年)

ブザンソン国際指揮者コンクールで優勝)



今回と次回は、文化の家に関わった二人の指揮者の方にまつわる話をさせていただきます。

現在31歳、若手の中で最もオフア
ーの多い指揮者の一人です。
文化の家では、2007年7月の
「おんぱく」で一緒にさせていただ
きました。なんでも幼少期に長久手
近辺で過ごした時期があるそうで、
不思議なご縁を感じました。

「おんぱく」は、普通のコンサ
ートとは違って、まる一日文化の家を
テーマパーク化して、数多く行われ
るアトラクションや子どもたちの
ダンス隊がぶっつけ本番でオーケ
ストラと共演するなど、全責任を負
う指揮者にとっては、なかなか骨の
折れるイベントでもあります。

マエストロには朝から夕方まで
「指揮者コーナー」をお願いしまし
たが、子どもたちを全力でレクチャ
ーし、ときには指揮者のモノマネを
やったりして自分自身も楽しんで
いました。また、合間をみて自らボ
ディペイントをしたり、最後のコン
サートでは、お客さんの参加コーナ
ーで客席に降りて指揮して回るな
ど、自ら率先してイベント全体を盛
り上げていました。マエストロの指
揮は、「疾風の如く」という言葉が
ぴったりで、若さあふれるタクトか

ら生き生きした音楽があふれ出し、
接した誰もがその才能に魅かれる
「何か」を持っている方でした。
終演後マエストロは「自分は無か
ら何かを生み出すことはできない。
でも長久手の「おんぱく」はそれを
やっている。全国でもこしかな
と思う」と言われました。
一見若武者のようで、実に謙虚で
冷静な姿勢が強く印象に残りまし
た。

そのちようど2年後
にマエストロは若手の
の登竜門として世界的
な権威を持つブザンソ
ン指揮者コンクールで
優勝し、昨年、小澤征
爾の代役としてサイト
ウ・キネン・オーケス
トラの代役を任せられ、
本番は熱狂的なスタン
ディング・オベーション
を受けたそうです。

それらの記者会見な
どでみたマエストロの
姿は「おんぱく」の時
とまったく変わってい
ませんでした。

また、最近のインタ
ビュー記事の中で、あ
るスイスの名門オーケ

ストラの主要ポストのオフア
ーを断ったことについて「今はその時期
ではないし、自分のことは自分が一
番わかっていますからね」と明かし
ていました。

また、いつか森のホールであの
「風」が吹く日を楽しみに。

文化の家 事業係 生田 創

(次回は、今年5月ベルリンフィルを
指揮して話題となった佐渡裕さん)



おんぱくで子どもをレクチャーする
マエストロ



オーケストラが演奏するラベルの「ボレロ」に合わせ、子どもたちが
リハーサルなしでダンスを披露しました

室内楽の楽しみ

9月25日(日) 午後3時開演 (開場は開演の30分前)
森のホール 全自由席
前売 フレンズ 400円 一般 500円
当日 フレンズ・一般 500円
チケット発売中
※未就学児の同伴・入場はできません

このコンサートのプレイベント ガレリアコンサートvol. 80
探れたて☆室内楽

9月13日(火) 午前11:00~ 入場無料
文化の家 アトリウム

「室内楽の楽しみ」出演予定者によるプレコンサートです。

北川民次とメキシコの仲間たち展

9月30日(金)~10月10日(月・祝) ※10月3日(月)休館
午前10:00~午後7:00

展示室

入場無料

オープニング・ギャラリートーク

9月30日(金)午前10:30~11:00

ギャラリートーク

10月2日(日)午後1:00~2:00

展示室

事前申し込み不要・聴講無料

トリプル3 演劇ワリカンネットワーク

南河内万歳一座×長久手町文化の家

作・演出 内藤裕敬

あらし

10月 1日(土) 午後2時・7時

2日(日) 午後2時 (開場は各30分前)

風のホール

前売 フレンズ 1,800円 一般 2,000円
学生 1,000円

当日 フレンズ・一般 2,200円 学生 1,200円

編集者コラム

急な登り坂をスイスイ走るママチャリに乗った人。信号待ちの車窓からよく見かける風景。

「そんなの簡単」と言う人もいるけれど、体力不足の私はその度に「ワーすごい」と思ってしまう。

そういえば最後に自転車に乗ったのはいつだったかなア...??

「尊敬と羨望」の眼差しでパワフルさんを見送りながら、車が足代わりの生活をいつも反省しています。 (さ)

長久手オペラ vol. 20

長久手オペラ・ガラコンサート

20回目を迎えた長久手オペラが「リゴレット」「イドメネオ」「ウェストサイド物語」「セルセ」などから数々の名アリアをお届けします

芸術監督:大下くみこ

10月9日(日) 午後3時 (開場は30分前)

森のホール

前売 フレンズ 1,500円 一般 2,000円

学生 1,000円

当日 フレンズ・一般 2,500円 学生 1,500円

全自由席

【長久手オペラとは】

「オペラのまち長久手」を目指し、文化の家開館当初から行っている定番事業。ストーリーをわかりやすく解説しながらの演奏会です。

のんびりと旅をしませんか!!

長久手在住 青山

ほっとすぺーす

「青春18きっぷ」をご存知ですか。退職し時間的な余裕もできたことから、これを利用して旅を楽しんでいます。この切符は春・夏・冬に期間限定で販売され一日乗車券五回分で一万五千五百円、一日あたり二千三百円でJRの普通と快速が一日乗り放題となります。一人で五回の日帰り旅行や、五人で日帰り旅行などいろいろな使い方ができます。魅力は何と言っても、のんびり車窓を楽しみながら旅ができることです。この夏、この切符で播州赤穂に行ってきた。名古屋6時45分発の快速に乗り、米原、姫路と乗り継いで赤穂11時36分着。大石内蔵

助屋敷、赤穂城、花岳寺など赤穂浪士ゆかりの史跡を巡り、元禄時代に思いをめぐらせました。時間の余裕があったので、姫路で途中下車をし「平成の保存修理」真最中の姫路城に立ち寄りました。工事のため美しい姿を見ることはできませんが、設置された見学スペースから工事中の天守閣を間近に見ることができます。ちなみに、この旅の交通費は一回分の二千三百円で片道四時間五十分、新幹線なら片道二時間十分往復一万八千四百二十円…。たまにはのんびりと時刻表片手に鉄道の旅はいかがですか。